

様式1 (第2関係)

5. 危険予防の方法

(1) 警戒措置、筒場等から []メートル以上の位置に柵又は縄張り等をして、その付近に赤旗又は立札等を掲げ関係者以外の立入を禁じ警戒に当たる。

(2) 不発煙火等の回収措置

ア 回収指揮者名 []

イ 回収従事者数 []名

ウ 回収の時間 終了後 翌日 ([]時から []時まで)

(3) 交通規制

有 無

(4) 防護措置等

不要 (離隔距離 20m以上)

要 (離隔距離 []m)

防護措置等

ポリカーボネート板、畳又は鋼板あるいはこれらと同等程度の機能を有する防護措置を行う。

ヘルメット着用等の安全対策を行う。

6. 事故発生時の措置

現場を保存し、すみやかに警察署に届出ると同時に、中濃消防組合管理者に通報する。

なお、遅滞なく事故内容について報告する。

7. 煙火取扱従事者名簿 (打揚業者名)

氏名	生年月日	現住所	職業	職務分担及び 主な作業内容	経 験	手帳等の種類			
						保	甲	乙	無

(注) 臨時雇については、通常の職業 (農業、会社員、店員等) を記載し、職務分担は予め定めた玉の保管係、打揚薬投入係、打揚玉運搬係、点火係、筒の整理係、早打ちの焼金係等を記載すること。

8. 打揚筒又は仕掛煙火の据付及び固定方法 (打揚業者が2以上の場合であって、固定方法がそれぞれ異なる場合は、異なる方法ごとに作成すること。)

別紙のとおり

9. 消費場所内配置図 (打揚筒、枠組、裏打、スターメイン及び乱玉等の設置場所並びに煙火置場の位置、防護

様式 1 (第 2 関係)

材の設置場所、警戒札、見張人等を明記すること。)

別紙のとおり

備考 この様式の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。